

第74号【2012/11/1 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

●巻頭言

『女性骨盤底再建センターとは』

女性骨盤底再建センター 教授 島田 誠

●医師の配属・異動・退職

●診療統計

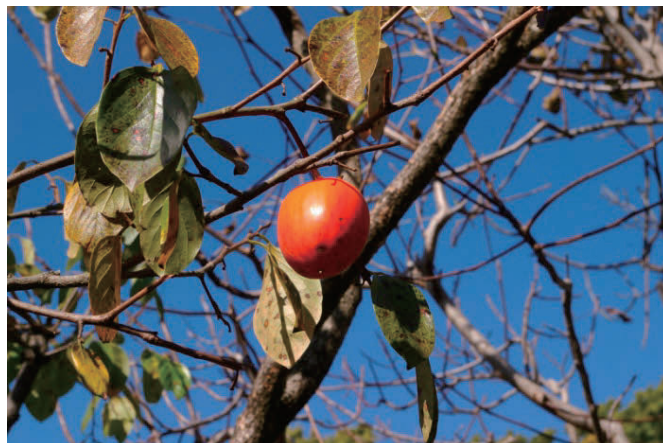
●TOPICS

●患者様からのご意見・ご要望

●北部イベント

●外来担当表

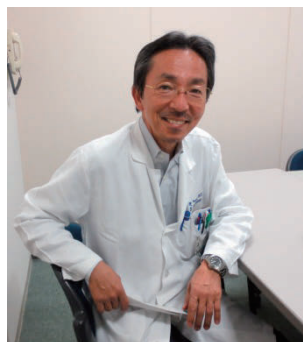
●患者様へのお知らせ・お願い



秋の訪れ

巻頭言

『女性骨盤底再建センターとは』



女性骨盤底再建センター
教授 島田 誠

昭和大学横浜市北部病院に本年9月より「女性骨盤底再建センター」(Women's Pelvic Floor Reconstruction Center)が新しく開設されました。あまり耳慣れない言葉でいったいどんなところかご存じない方が多いと思いますので、ご紹介したいと思います。取り扱う臓器は、女性の骨盤底にあるほとんどすべての臓器が対象ですが、日常生活に支障をきたす、つまり「生活の質」(Quality of life: QOL)が障害される病気や状態を治療することです。主には癌などの悪性疾患の治療は行いませんが、これによってQOLが障害されていたら、その治療にはあたります。具体的には尿失禁、膀胱脱(瘤)、子宮脱、直腸瘤などの骨盤臓器脱や間質性膀胱炎、膀胱腔瘻、慢性骨盤痛症、子宮癌術後など女性の骨盤底に関係する多くの疾患が対象です。「再建」というからには当然外科的な治療を含んでおり、必要に応じて手術を行います。主要なものは骨盤臓器脱と尿失禁ですが、これまではこれらの疾患は主に泌尿器科、婦人科で扱われてきました。しかし実際には、ある病院では泌尿器科であり、また別の病院では婦人科であり、さらに別の病院によってはこれらの疾患を全く扱っていないところもあって、混乱を招いていました。このように一見どこでも扱っているように見えて実はど

こも専門ではないという状態です。膀胱～尿路は泌尿器科ですが、これと接している膣～子宮は婦人科であり、また直腸も複雑に関係していますが、これは直腸肛門外科が治療にあたる、といった具合です。しかしこれらの臓器は接しているのにその片方、一方だけに異常をきたすということはむしろ少なく、骨盤臓器脱などはその典型で骨盤底臓器全体として理解していかないと解決できません。そこで、この不具合を改善する動きがこの10年足らずのうちに起きてきました。欧米ではこの泌尿器科(ウロロジー)と婦人科(ガynecology)の間にある領域を「ウロギネコロジー」と呼び、以前から専門医としての制度もありましたが、日本においてもやっとそういった診療分野ができてきました。幸い当昭和大学横浜市北部病院では、開院以来この領域を専門に扱っており、国内でも最先端の治療を提供してきたと思っています。そこで今回この領域を独立させ、より分かり易く、さらに良い治療を提供することを目的としてこの診療科を創設することになりました。これまでは「女性泌尿器科」として特殊外来を設けていましたが、ニーズの高まりを受けて今回泌尿器科から独立させることになった訳です。最近、他病院にて「ウロギネセンター」や「女性骨盤底センター」といった新しい診療科が誕生していますが、ほぼ同じ意味です。もっとも多い疾患は骨盤臓器脱ですが、これは女性のQOLを落とす代表的な疾患です。膀胱や子宮、直腸などの下垂によって膣が押されて飛び出してくる病気で、近年多く行われているメッシュによる固定術は、当院と大阪の竹山医師がともに日本で初めて行いました。また現在は一般的に行われている尿失禁に対するTOT手術も、日本では当院で初めて行われた経緯があり、全国各地から多くの医師が研修、見学に訪れています。また新しい手術として、腹腔鏡による骨盤臓器脱の手術もすでに導入されていて、今後はさらに増加していくことが予想されています。

現在当科での骨盤臓器脱手術待ちは約1年ですが、尿失禁はこの限りではありません。この分野は先述のように提供できる施設が限られており、患者さまへの問題となっています。この長い名前の「女性骨盤底再建センター」をさらに充実させ、女性のQOL改善を目標に、また皆様にご不便をかけないように目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

9月～10月

【新規採用】



菊岡 修一
(緩和医療科)
千葉大学
平成4年卒



酒井 健
(整形外科)
聖マリアンナ医科大学
平成19年卒

【附属施設より】



中里 佐保子
(産婦人科)
藤が丘病院
産婦人科より



宮上 哲
(産婦人科)
藤が丘病院
産婦人科より



大下 優介
(救急センター)
藤が丘病院
整形外科より



湯田 初
(メンタルセンター)
烏山病院
精神医学講座より



児玉 雅彦
(こどもセンター)
医学部
小児科学講座より

【配置転換】

- ☐ 小形 典之 (消化器センター ⇒ 救急センター)
- ☐ 前田 知世 (消化器センター ⇒ 救急センター)
- ☐ 高柳 大輔 (救急センター ⇒ 消化器センター)

- ☐ 須藤 晃佑 (救急センター ⇒ 消化器センター)
- ☐ 松久 孝行 (救急センター ⇒ 整形外科)
- ☐ 吉田 典世 (救急センター ⇒ 内科)

【学外研修終了】

- ☐ 及川 裕将 (消化器センター)
- ☐ 山内 彰裕 (消化器センター)

- ☐ 土屋 静馬 (救急センター)
- ☐ 神山 勇太 (消化器センター)

- ☐ 久津川 誠 (消化器センター)
- ☐ 中村 大樹 (消化器センター)

異動・退職医師

9月～10月

【附属病院へ】

- ☐ 新谷 紘子 (麻酔科 ⇒ 歯科病院歯科麻酔科へ)
- ☐ 小川 玲 (こどもセンター ⇒ 医学部小児科学講座)

- ☐ 秋田 亮 (メンタルセンター ⇒ 烏山病院精神医学講座へ)

【長期学外出張】

- ☐ 加藤 一樹 (消化器センター)
- ☐ 久行 友和 (消化器センター)
- ☐ 五十嵐 健太 (消化器センター)
- ☐ 小川 悠史 (消化器センター)

- ☐ 入江 悠子 (整形外科)
- ☐ 林 靖子 (消化器センター)
- ☐ 前田 康晴 (消化器センター)

- ☐ 大森 明澄 (産婦人科)
- ☐ 石垣 智之 (消化器センター)
- ☐ 佐藤 雄太 (消化器センター)

【退職】

- ☐ 澤田 まどか (こどもセンター)
- ☐ 澁谷 泰弘 (呼吸器センター)

- ☐ 北原 優 (内科)

- ☐ 若林 峰生 (消化器センター)

診療統計

2012年8月～9月統計データ()内は1日平均

診療実日数 8月(入院:31日・外来:26日)、9月(入院:30日・外来:23日)

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
8月	32,311人(1,196.7人)	18,502人(596.8人)	345件(11.1件)	753件(32.7件)
9月	29,651人(1,289.2人)	16,832人(561.1人)	341件(11.4件)	598件(31.5件)

TOPICS

マダガスカルに医療チームを派遣しました

昭和大学は公益財団法人笹川記念保健協力財団の専門家派遣事業に協力し、平成24年6月12日から23日までマダガスカル共和国に医療チームを派遣しました。医療チームは医師（形成外科・麻酔科）、看護師、学生の9名で構成され、当院からも看護師が1名参加しました。医療チームはアンツィラベ市のアベマリア産院において、子どもの口唇口蓋裂に対する医療にあたりました。

「マダガスカルプロジェクトを終えて」

昭和大学横浜市北部病院 手術部看護師 吉田 薫

6月12日から23日の12日間、マダガスカル口唇口蓋裂医療協力の活動に参加した。事前に去年の医療活動状況や現地の情報を聞いていたが、首都アンタナナリボやアンツィラベ地域に到着した時は、思い描いていたより建物や店、補修された道路があり、修道会施設など街として生活できる環境に安心した部分もあった。

しかし、実際に口唇口蓋裂の手術を行う患者やその家族と接して、シャワーや入浴の生活習慣がなく、何日も着替えを行わないなど、不衛生な環境を目の当たりにした。不衛生な生活環境だけでなく、アベマリアクリニックの手術室内も空調や環境が十分とはいえず、清潔と不潔の区別もはっきりと出来ていなかった。

さらに術後のケアにおいても常に医療従事者が居るわけではなく、創部の経過や処置方法に不安を感じた。しかし、術後の処置やケア方法について医師から現地のナース及びシスターに申し送りされていた。

手術室では、照明として蛍光灯1本と小さな无影灯2台しかなく、夕方を過ぎると手術室がとても暗く感じた。そのため、針や糸の操作が不便であった。

さらに、日本では使用した手袋及びガウンやガーゼなどの医療材料は、単回使用として処分されているが、現地では手術に使用した手袋やガーゼ、ガウンなどが洗濯され天日干しされていた事に衝撃を受けた。感染症の検査も行っておらず、使用済みの血液污染されたガーゼやガウンを洗濯して、再利用する可能性を考えると、危険なのではないかと感じた。

今回のマダガスカル医療協力で、日本から持ち込んだ必要最低限の衛生材料と医療器材で、今まで適切な治療を受けることができなかった子供達に口唇口蓋裂の手術を実施することができた。

手術を終えて母子共にリカバリールームや修道院の中で過ごしている様子を見ると、手術室入室時の不安な表情とは違い、笑顔で過ごす様子を見てうれしく感じた。また、口蓋裂手術後に子供の声が良くなったと医師に感謝の言葉を伝えようと訪れる親の様子を見て、今回の医療支援活動に携われて良かったと思った。

今回のプロジェクトに参加することで、日本では経験できない貴重な体験ができた。さらに医療従事者だけではなく、修道院にいるシスターやナース、日本財団のスタッフやボランティアの方々に多く助けられ、チームの一員としてマダガスカル医療支援活動を終え、充実した日々を送ることができた。



トライアスロン世界選手権に医師・看護師を派遣しました

H24.9.29-30日の日程で開催された世界トライアスロン横浜大会の救護支援に当院医師8名・看護師17名が参加しました。この大会は1.5kmの水泳・40kmの自転車・10kmのマラソンを順に行うものです。横浜大会は2009年より行われ今年で3回目の開催となりました。当院では全ての大会において医療救護スタッフを派遣し大会運営のサポートを行っています。例年通り山下公園前の海上から水泳でスタートし、自転車やマラソンコースには赤レンガ倉庫などの歴史的建造物や近代的ビル群が含まれる横浜らしい大会となりました。

大会初日の世界大会は快晴で最高気温30℃超えとなりましたが、選手のトラブルは自転車転倒による軽度の外傷のみで無事終了しました。2日目は、パラトライアスロン、エイジグループ（一般男子）、リレー（水泳、自転車、マラソンを計3名で行う）が行われました。競技途中、台風の接近に伴い雨天となり、自転車の転倒が多発し外傷の対応に追われました。マラソンコース後半では、熱中症を予防する目的で看護師佐々木仁美、田中知子の2名による徹底した選手への給水・塩分摂取補助を行いました。医師看護師が協力し選手のケアを行うことで、大きな事故もなく無事に大会スケジュールは終了しました。第4回は来年5月に開催を予定しています。救護に参加された医師・看護師の皆さまお疲れさまでした。

文責）耳鼻咽喉科 門倉義幸



TOPICS

自衛消防訓練に参加しました

9月21日（金）に都筑区自衛消防組織連絡協議会・都筑消防署主催による都筑自衛消防隊消防操法技術訓練会が山田富士公園にて開催され、当院防災センターより田邊秀樹、田中諒介の2名が参加しました。この訓練会は都筑区に拠点を置く大型施設が数チーム参加し、順位を競います。当院は2人組となって行う2号屋内消火栓操法の部に参加し、正確な操作を心がけ行動することができました。今後も積極的に訓練会に参加する予定です。



患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しましては、関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど、出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で、早急に対応が必要なもの、多くの方が希望していることを優先して対応させて頂きたいと考えており、その他のご意見についても順次対応させて頂きます。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近多くいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させて頂きました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	改善等
毎週のように通院し採血や点滴をしています、失敗されることがあり、心配します。	この度はつらい思いをさせてしまい大変申し訳ありませんでした。採血や点滴を行う際に、スタッフ間での患者さまの情報共有を強化いたします。また、血管を肉眼で観察することが困難な場合にはタオルで温めて血管が分かりやすい状態にすることや、血管に触って硬さや弾力性などをイメージして最適な器具を選んでいきます。そして何よりも患者さまの気持ちに寄り添って対応させていただきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

北部イベント

公開講座～暮らしと健康～

平成24年10月13日（土）13時30分から西棟4階講堂において、秋季公開講座〈暮らしと健康〉を開催しました。今回の公開講座は「膝痛・足痛について」、「気管支ぜんそく～最近の治療について～」の2テーマで開催し約130名の方々にご参加いただきました。

参加された方々からは「とても分かりやすかった」「今後も参加したい」などの声をいただきました。

次回の公開講座については詳細が決まり次第、院内掲示・ホームページ等でお知らせ致します。



市民公開セミナー～聴覚障害者の医療講演会～

平成24年10月27日（土）13時から西棟4階講堂において、第8回聴覚障害者の医療講演会を開催しました。今回は「大きくかわったリウマチ治療と治療目標」、「泌尿器科のあれこれ～なにかあっても慌てない為に～」、「禁煙のススメ～不都合な真実～」の3部構成で行い、約50名の方々にご参加いただきました。

この講演会は聴覚障害者の方にも理解していただけるよう手話通訳・音声通訳・要約筆記・磁気ループを用いて講演を行っております。

今回の「第9回聴覚障害者の医療講演会」は、平成24年12月1日（土）13時より昭和大学4号館6階600号室（東京都品川区旗の台1-5-8）にて開催いたします。（テーマは今回と異なります。）

【問い合わせ先】昭和大学病院 管理課（田丸） TEL：03-3784-8515

E-mail：chokaku@ofc.showa-u.ac.jp



外来担当表

平成24年1月1日現在
外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

診療科	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
呼吸器セナー	鹿間 裕介 (初診)		幹木 隆 (再診・呼吸器外科)	笠原 慶太 (再診・喘息)	担当医局員 (初診)	担当医局員 (喘息専門外来)	笠原 慶太 (再診・喘息・その他)	堀内 一哉 (再診)	北見 明彦 (初診・呼吸器外科)	小玉 晴菜 (再診)	担当医局員 (初診)	
	笠原 慶太 (再診)	笠原 慶太 (再診)	青木 明子 (初診)	鈴木 明子 (喘息専門外来)	榎松 秀穂 (再診・呼吸器外科)	榎松 秀穂 (再診・呼吸器外科)	丹澤 盛 (再診・呼吸器外科)	丹澤 盛 (再診・呼吸器外科)	丹澤 盛 (再診・呼吸器外科)	丹澤 盛 (再診・呼吸器外科)	丹澤 盛 (再診・呼吸器外科)	丹澤 盛 (再診・呼吸器外科)
	北見 明彦 (再診・呼吸器外科)		笠原 慶太 (再診)	井上 七重 (初再診)	鹿間 裕介 (再診)	鹿間 裕介 (再診)	鹿間 裕介 (再診)	藤崎 恭子 (初再診)	藤崎 恭子 (初再診)	萩原 洋輔 (再診)	萩原 洋輔 (再診)	萩原 洋輔 (再診)
	鈴木 浩介 (初診)	萩原 洋輔 (再診)	鹿間 裕介 (再診)		北見 明彦 (再診・呼吸器外科)	鈴木 浩介 (再診)	鈴木 浩介 (再診)	肥田 典子 (再診)	鹿間 裕介 (再診)	肥田 典子 (再診)	肥田 典子 (再診)	青木 朗子 (再診)
消化器セナー	山村 冬彦(内)	山村 冬彦(内)	工藤 進英(外)	小鷹 紀子(外)	石田 文生(外)	工藤 豊樹(内)	大越 章吾(内) 第4・矢野 雅彦(内)	大越 章吾(内)	小形 典之(内)	小形 典之(内)	木田 裕之(外)	
	林 武雅(内) (予約のみ)	三澤 将史(内)	田中 淳一(外)	上部内視鏡外来	若村 邦彦(内)	若村 邦彦(内)	里館 均(外)	里館 均(外)	木田 裕之(外)	ストーマ	井上 晴洋(外)	
	児玉 健太(内)	児玉 健太(内)	井上 晴洋(外)	井上 晴洋(外)	和田 祥城(内)	和田 祥城(内)	良沢 昭銘(内)	良沢 昭銘(内)	春日 井 尚(外)	春日 井 尚(外)	大腸外科外来	
	(交 替)	出口 義雄(外)	(交 替)	(交 替)	岩下 彰(第2)	(交 替)	森 悠一(内)	(交 替)	宮地 英行(内)	宮地 英行(内)	(交 替)	
心臓血管カテーテル室	落合 正彦				日高 英二(外)	日高 英二(外)	(交 替)	山村 冬彦(内)	(交 替)	(交 替)		
	磯村 直栄		岡部 俊孝		小原 千明		荒木 浩		薬師寺 忠幸		(交 替)	
	星本 剛一		荏原 誠太郎		山本 明和		藤倉 寿則		山下 賢之介			
	富田 英	藤本 一途 (第1.3 10:30～)	上村 茂	富田 英 (成人先天性心疾患)	【カテーテル治療】	百々 秀心(第1) 交替(第2・3・4) (胎児心疾患)	富田 英	藤井 隆成	上村 茂	香瀬 広亮	(交 替)	
循環器セナー (先天性心疾患)												
循環器セナー (心臓血管外科)	伊藤 篤志	伊藤 篤志	喜瀬 広亮(第1.3) 藤井 隆成(第2.4)					シナジス外来				
内科	堀 宏治 (精神全般・認知症)	堀 宏治 (精神全般・認知症)	吉益 晴夫	吉益晴夫・富岡大 (第1・3・5)(第2・4)	工藤 行夫 (精神全般・統合失調症)	工藤 行夫 (精神全般・統合失調症)	菊池 優	菊池 優	内田 充彦	内田 充彦	青木 麻梨	
		富岡 大	湯田 初	押尾 朋範	堀 宏治	堀 宏治	吉益 晴夫	吉益 晴夫 (解離性障害)	工藤 行夫	吉益 晴夫 (高次機能障害) (第1・3・5)	山田 英介	
		青木 麻梨	医局員		富岡 大	菊池 優		横山 佐知子	笹森 大貴	青木 麻梨 (双極2型障害) (第2・4)		
		東 一成						幾瀬 大介	堀宏治(老年期)			
緩和ケア(麻酔科)	岡本 健一郎 (事前予約制)				岡本 健一郎 (事前予約制)					岡本 健一郎 (事前予約制)		
内科	滝西 安隆 (内科総論)(予約のみ)	福井 俊哉 (記憶認知)	吉田 典世 (内科)	滝西 安隆 (内科総論)(予約のみ)	菊島 修示 (循環器不整脈)	菊島 修示 (循環器不整脈)	朝倉 慶 (内科)	滝西 安隆 (内科総論)	川崎 仁志 (神経疾患)	土曜初診		
	衣笠 えり子 (内科腎臓)	坂下 暁子 (内科血液)	福井 俊哉 (内科神経)	福井 俊哉 (内科神経)	衣笠 えり子 (内科腎臓)	衣笠 えり子 (内科腎臓)	坂下 暁子 (内科血液)	坂下 暁子 (内科血液)	福井 俊哉 (内科神経)	福井 俊哉 (内科神経)	宮下 耕一郎 (内科消化器)	
	坂下 暁子 (内科血液)	山崎 貴博 (内科神経)	山崎 貴博 (内科神経)	山崎 貴博 (内科神経)	中山 文義(腎) (第2・4・5)	金野 竜太 (内科神経)	福井 俊哉 (内科神経)	福井 俊哉 (内科神経)	福井 俊哉 (内科神経)	福井 俊哉 (内科神経)	宮下 耕一郎 (内科消化器)	
	金野 竜太 (内科神経)	井上 積 (糖尿病・内分泌)	加藤 憲 (内科腎臓)	加藤 憲 (内科腎臓)	山本 泰漢 (内科消化器)	伊藤 英利 (内科腎臓)	加藤 雅典 (内科腎臓)	大滝 善行 (内科)	伊藤 英利 (内科腎臓)	山本 泰漢 (内科消化器)	渡邊 浩之(第1・3) (内科腎臓)	
	齋藤 佳範 (内科)	成島 道昭 (内科)	久松 篤 (内科)	辻 正富 (糖尿病・内分泌)	山本 真寛 (内科腎臓)	山本 真寛 (内科腎臓)	女性専門外来 (予約のみ)	成島 道昭 (内科)	伊藤 英利 (内科腎臓)	山本 真寛 (内科腎臓)	山本 泰漢 (内科消化器)	
	田口 進 (内科消化器)	佐原 徹(予約のみ) (糖尿病・内分泌)	佐原 徹(予約のみ) (糖尿病・内分泌)	辻 正富 (糖尿病・内分泌)	佐原 徹(予約のみ) (糖尿病・内分泌)	佐原 徹(予約のみ) (糖尿病・内分泌)	手塚 悠 (内科)	成島 道昭 (内科)	伊藤 英利 (内科腎臓)	山本 真寛 (内科腎臓)	山本 泰漢 (内科消化器)	
	佐原 徹(予約のみ) (糖尿病・内分泌)	佐原 徹(予約のみ) (糖尿病・内分泌)	辻 正富 (糖尿病・内分泌)	辻 正富 (糖尿病・内分泌)	小林 功治 (内科神経)	小林 功治 (内科神経)	緒方 浩顕 (内科腎臓)	小川 功治 (内科神経)	小川 功治 (内科神経)	小川 功治 (内科神経)	緒方 浩顕 (内科腎臓)	
	宮下 耕一郎 (内科消化器)	13:00～14:00 高橋 健 (内科腎臓)	三代川 孝雄 (内科消化器)	松浦 弓恵 (内科腎臓)	三代川 孝雄 (内科消化器)	布上 敬和 (内科)	加賀 康宏 (内科)	伊藤 英利 (内科腎臓)	伊藤 英利 (内科腎臓)	伊藤 英利 (内科腎臓)	伊藤 英利 (内科腎臓)	
	齋藤 祐介 (内科神経)							伊藤 英利 (内科腎臓)	伊藤 英利 (内科腎臓)	伊藤 英利 (内科腎臓)	伊藤 英利 (内科腎臓)	
								伊藤 英利 (内科腎臓)	伊藤 英利 (内科腎臓)	伊藤 英利 (内科腎臓)	伊藤 英利 (内科腎臓)	
								伊藤 英利 (内科腎臓)	伊藤 英利 (内科腎臓)	伊藤 英利 (内科腎臓)	伊藤 英利 (内科腎臓)	
小児科	梅田 陽	神経外来	梅田 陽	乳児検診	北澤 重孝	アレルギー外来	梅田 陽	成育外来 (第2・4)	北澤 重孝	乳児検診	三輪(第1・3・5) 本多(第2・4)	
	大戸 秀恭	予防接種	三輪 善之	フォローアップ外来	大戸 秀恭	腎臓外来 辻(第3)	心臓外来	心臓外来 (西園)	三輪 善之	フォローアップ外 来	渡邊(第2・4)	
	北澤 重孝	腎臓外来 (本多)	本多 貴実子	血液内科(第4)	本多 貴実子	心理相談	井上 真理	口腔発達 (第2・4)	大戸 秀恭	心理相談	大戸 秀恭 上松(第2)	
小児外科		鈴木 孝明		大橋 祐介			鈴木 孝明	心理相談	大橋 祐介		鈴木孝明(第1・3・5) 大橋祐介(第2・4)	
		渡井 有		田山(14:00～15:00) 中神(15:00～16:00)			田山(14:00～15:00) 田山(15:00～16:00)	渡井 有				
皮膚科 (初診)	杉山 美紀子		中田 土起文		齋藤 美穂		杉山 美紀子		中田 土起文		(交 替)	
皮膚科 (再診)	中田 土起文 齋藤 美穂	【手術日】	杉山 美紀子 齋藤 美穂	【手術日】	殿岡 永里加 島田 洋子	【手術日】	殿岡 永里加 島田 洋子	【手術日】	殿岡 永里加 島田 洋子	【手術日】	(交 替)	
外 科	中村 明央 (第3以外)	中村 明央	福成 信博 (予約のみ)	新井 一成			新井 一成	岩波 正英(第3)	山崎 智巳		中村 明央(第1・3) 新井 一成(第2・4)予約のみ	
	坂上 聡志 (予約のみ)		外科医師限定	山崎 智巳			中村 明央	井関 雅一(第2・4)	福成 信博(予約のみ) (第1・2・3・5)		坂上 聡志(第1・3・5) 山崎 智巳(第2・4)	
	福成 信博 (完全紹介予約制) (第1・2・4初診限定)				柏瀬 立尚 (第2・4)						坂上 聡志 (第1・3・5)	
	大塚 尚治	【手術日】	【手術日】	【手術日】	【手術日】	【手術日】	【手術日】	【手術日】	【手術日】	【手術日】	大塚 尚治(第1・3・5) 久保田 夏枝(第2・4)	
形成外科	久保田 夏枝	【手術日】	【手術日】	【手術日】	【手術日】	【手術日】	【手術日】	【手術日】	【手術日】	【手術日】	久保田 夏枝(第2・4)	
脳神経外科	池田 尚人	池田 尚人 (診断書外来)			池田 尚人			松本 浩明 (予約のみ)	池田 尚人		休診	
											池田(第1)(予約のみ)	
整形外科	初診医		初診医	川崎 恵吉	初診医	中村 正則	初診医	古根(第2・4)	初診医	尾又 弘晃	(交 替)	
	川崎 恵吉	装具診	三雲 仁	前田昭彦 (第1・3・5)	松久 孝行	装具診	三雲 仁	三雲 仁	大下 優介		遠見 範孝 (第1・3)	
	前田 昭彦		西山嘉信 (予約のみ)	リウマチ診(小田井)	尾又 弘晃		中村 正則 (第3休診)	松久 孝行				
	酒井 健		石原 陽平	リウマチ診 (並木・玉・稲原)	王 興栄		川崎 恵吉	石原 陽平				
産婦人科 (初診)	小川/(栗城)		佐々木 康	折坂 勝	安藤 直子		安藤 直子	小川 公一			(交 替)	
産婦人科 (産科)	宮上 哲	小川 公一		佐々木 康	秋野 亮介		安藤 直子	安藤 直子				
	中里 佐保子	折坂 勝		真井 博史	三村 貴志		安藤 直子	安藤 直子				
産婦人科 (婦人科)	真井 博史	安藤 直子		荒川 香	佐々木 康		安藤 直子	安藤 直子			(交 替)	
泌尿器科 (初診)	秋野 亮介		中里 佐保子		宮川 哲		宮川 哲	折坂 勝				
	永田 将一	松原 英司(第1・3・5) 前田 智子(第2・4)	丸山 邦隆 (予約のみ)	齋藤 克幸	井上 克己	松原 英司 (予約のみ)	永田 将一	前田 智子 (予約のみ)	島田 誠		(交 替) (初再診)	
泌尿器科 (再診)	島田 誠	島田(女性外来) (予約のみ)	齋藤 克幸		井上 克己				椎木 一彦			
泌尿器科 (検査)		前田(女性第2外来) (予約のみ)										
眼科	長谷川 裕基		南 雅之	南 雅之	藤澤 邦見	遠藤 貴美 (特株診)	藤澤 邦見	藤澤 邦見	井上 浩太(交替制) (第1.3.5)	南 雅之(交替制) (第1.3.5)	南 雅之	(交 替)
	南 雅之		遠藤 貴美		井上 浩太		井上 浩太	井上 浩太				(交 替)
	嶋田 摂也	嶋田 摂也	長谷川 裕基	長谷川 裕基	長谷川 裕基		嶋田 摂也	嶋田 摂也	嶋田 摂也			
耳鼻咽喉科	門倉 義幸 (初診)	腫瘍甲状腺外来 (予約のみ)	山田 良宣 (初診)	(医局員) (初診)	補聴器外来M (予約のみ)		補聴器外来M (予約のみ)	補聴器外来N (予約のみ)	浜崎 泰佑 (予約のみ)	(医局員) (初診)	(医局員) (初診)	
	山田 良宣 (再診)		野垣 岳雄 (再診)	滝口 修平 (予約のみ)			門倉 義幸 (再診)	門倉 義幸 (第1・3・5予約のみ)				
歯科	渡辺 仁資 (初診)	渡辺 仁資 (初診)	木下 潤一郎 (再診)	木下 潤一郎 (再診)	渡辺 仁資 (初診)	渡辺 仁資 (再診)	渡辺 仁資 (初診)	渡辺 仁資 (再診)	渡辺 仁資 (初診)	渡辺 仁資 (再診)	渡辺 仁資 (初診)	渡辺 仁資 (再診)
	青山 慶太 (再診)	青山 慶太 (再診)	青山 慶太 (再診)	青山 慶太 (再診)	吉田 裕子 (再診)	吉田 裕子 (再診)	青山 慶太 (再診)	青山 慶太 (再診)	青山 慶太 (再診)	青山 慶太 (再診)	青山 慶太 (再診)	青山 慶太 (再診)

◎放射線治療の外来日は、月火木金・肥澤医師です。

◎リハビリ科外来日は、第1曜日午後：真野医師です。

◎歯科は完全紹介予約制です。

◎メンタルケアセンターは完全予約制です。

患者様へのお知らせ・お願い

総合相談センター通信 vol. 7 《お食事に関するご相談について》

総合相談センターでは、チョツとした疑問やご相談に当院の管理栄養士が患者さんと直接お話しし、対応しております。

過去には下記のご相談に対応してまいりました。

疾患にあわせた献立のご相談
消化管手術後・治療中の食事について
補助食品について など

疾患別の食事については、「取り入れたい食材があるけれど、大丈夫かな」といった内容のご相談もあります。一般的にこれを食べると病気が治るという素晴らしい食品・献立はありません。一方で、民間療法や健康補助食品等での健康被害が起きている現状もあります。もちろん、お薬・サプリメントと食事の相互関係については、薬剤師も合わせてご相談に乘ります。

消化管手術後の食事や様々な治療により、食べることで症状が出ないか、こういった食べ方をしたらよいか、食べられる量が減ってしまった、体重の増減が気になる、口内炎等での味覚変化が心配といった不安な気持ちを多くの方からご相談をいただいています。食事の摂り方や献立・調理の工夫について、必要な場合には症状に合わせた栄養補助食品（味についてや食べやすいものなど）の取り入れ方を提案しています。

お食事のご相談は病気の症状と密接にかかわることが多く、状況によっては医師の指示が必要な場合もありますので、その場合には、医師の指示のもと栄養指導の時間を別に設けてゆっくりお話させていただきます。

不安を抱えて過ごす毎日より、お気軽にお声を掛けてください。お問い合わせは、総合相談センターまで。

総合相談センター 担当管理栄養士 岡田 知也

総合相談センター

【場所】中央棟1階エスカレーター脇 【対応時間】9時～16時（土日・祝日を除く）

※予約は不要です。

※個人の秘密は守り、相談者の不利益にならないように配慮します。

※相談は無料です。

※相談は、原則対面方式です。

ホームページをリニューアルしました

昭和大学横浜市北部病院のホームページを平成24年9月にリニューアル公開いたしました。

新しいホームページはスマートフォンおよびタブレット端末での閲覧に最適化されています。

ぜひ、ご活用ください。

リニューアルにともない、URLが変更になりましたのでご注意ください。

新しいURL：<http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

編集後記

日に日に空気が澄んできて冷気を含み、秋の気配が深まってきました。秋といえば「食欲」「スポーツ」「読書」「芸術」などさまざまな言葉が冠されます。しかしやはり最も楽しみなのは味覚。秋刀魚、鮭、伊勢海老、海苔、柿、みかん、りんご、さつまいも、長芋など、秋に旬を迎える食材は数えきれません。「柿が赤らむと医者が青くなる」といって旬の美味しいものをいただくと健康にもよいといいますが、ついつい食べ過ぎて、体重、腹囲の目盛りが気づくと増えていることもしばしばです。そんなことのないように「スポーツ」とまでいわず、通勤時に歩いたり、近所の公園を散歩したりするだけの「運動」を心がけたいものです。健康によいだけでなく「運動」は「運が動く」ことにつながるそうです。気候のよいこの季節に少しずつ始めてみたいものです。

広報委員会 委員 曾我 恭司

北部病院だより 第74号

平成24年11月1日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 衣笠 えり子(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL：<http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。